

# 「集まれ！小さな外交官」の取組みについて

## ～帰国子女の現状報告～

広島県国際理解教育研究協議会 企画部

尾道市立因北小学校 教諭 福島 健作

### 1 はじめに

○「集まれ！小さな外交官」とは

目的 海外における経験や帰国後の経験・悩みを語り合い、お互いの理解を深める場を提供する。

参加者 広島県在住の帰国子女（例年20名弱）1泊2日の日程で広島市内で合宿をする。大学生がボランティアとして参加している。

※帰国子女の子供たちが自分を出せるようにがんばっていきたい。

### 2 活動報告

○活動報告（第24回「集まれ！小さな外交官」合宿より）

・交流ゲーム ・交流タイム ・野外炊飯

### 3 帰国子女の現状

○交流タイムで出てきた子どもたちの意見より

《海外での経験》

- ・祭りや施設、生活の違いや交流が楽しかった。
- ・生活の違いに慣れるのに困った。

《困っていること》

- ・外国人と呼ばれた。
- ・英語のときにまだ日本では学習していない単語を使ったらいやな噂を流され、保健室登校になった。（同様に英語の発音で、わざと日本人っぽい発音をするなど、自分を隠している生徒の実態があった。）
- ・ランドセルのがらの違いでいじめにあった。
- ・海外生活の話ができない（先進国の話をすると言われ、発展途上国の話をすると言われる）

《将来について》

- ・自分の経験を歌にするアーティストになりたいという子供。
- ・帰国子女の先輩が英語を生かして留学し、さらにスペイン語を学んで留学したいとっているという事例。

《事前アンケート》

- ・子供からは同じ経験を受け入れてくれるからうれしいという意見。
- ・保護者からは帰国子女であることをアピールすると日本の友達に嫌がられるということと在外経験をプラス材料にしてほしいという意見が寄せられた。

### 4 今後の課題

○子どもたちについて現状を知ってもらうこと。

○企画運営に関する課題について、現在広島県内の帰国子女の数が正確に把握できていない。県内帰国子女の実態を把握していく必要がある。

